

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【公開番号】特開 2013-123529 (P2013-123529A)

【公開日】平成 25 年 6 月 24 日 (2013.6.24)

【年通号数】公開・登録公報 2013-033

【出願番号】特願 2011-273630 (P2011-273630)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/022 (2006.01)

A 6 1 B 8/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/02 3 3 3 Z

A 6 1 B 5/02 3 3 7 A

A 6 1 B 8/04

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 9 日 (2014.12.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

計測対象部位における計測対象血管の血管径を計測する血管径計測部と、  
心臓に対する相対的な高さが異なる第 1 位置及び第 2 位置に前記計測対象部位を位置させた時に前記血管径計測部により計測された第 1 血管径及び第 2 血管径の差である血管径差と、  
血圧と前記計測対象血管の血管径との相関特性と、前記第 1 位置及び第 2 位置の高さ方向の差に基づく水頭圧差とを用いて、被検者の血圧を推定する血圧推定部と、  
を備えた血圧計測装置。

【請求項 2】

前記血圧推定部は、前記水頭圧差を血圧差とみなした当該血圧差と前記血管径差との関係に適合する特性値を前記相関特性から判定して前記被検者の血圧を推定する、  
請求項 1 に記載の血圧計測装置。

【請求項 3】

前記第 1 血管径及び第 2 血管径は拡張期血管径でなり、  
前記血圧推定部は、  
前記相関特性と前記血管径差と前記水頭圧差とを用いて、前記被検者の拡張期血圧を推定する拡張期血圧推定部と、  
前記拡張期血圧と、前記血管径計測部により計測された血管径の拍動に伴う変動幅と、  
前記相関特性とを用いて、前記被検者の収縮期血圧を推定する収縮期血圧推定部と、  
を有する、  
請求項 1 又は 2 に記載の血圧計測装置。

【請求項 4】

前記第 1 血管径及び第 2 血管径は収縮期血管径でなり、  
前記血圧推定部は、  
前記相関特性と前記血管径差と前記水頭圧差とを用いて、前記被検者の収縮期血圧を推定する収縮期血圧推定部と、  
前記収縮期血圧と、前記血管径計測部により計測された血管径の拍動に伴う変動幅と、

前記相関特性とを用いて、前記被検者の拡張期血圧を推定する拡張期血圧推定部と、  
を有する、  
請求項 1 又は 2 に記載の血圧計測装置。

【請求項 5】

前記血圧推定部は、前記相関特性と、前記血管径差と、前記血管径計測部により計測された血管径の拍動に伴う変動幅と、前記水頭圧差とを用いて、前記被検者の拡張期血圧及び収縮期血圧を推定する、  
請求項 1 に記載の血圧計測装置。

【請求項 6】

前記血管径計測部は、血管径を連続的に計測可能に構成されており、  
前記血圧推定部は、前記計測対象部位が前記第 1 位置に位置した時の前記第 1 血管径と前記第 2 位置に位置した時の前記第 2 血管径との差から前記血管径差を算出する、  
請求項 1 ～ 5 の何れか一項に記載の血圧計測装置。

【請求項 7】

計測対象部位が第 1 位置に位置する場合に計測対象血管の血管径を計測する工程と、  
前記計測対象部位が前記第 1 位置とは心臓に対する相対的な高さが異なる第 2 位置に位置する場合に前記計測対象血管の前記血管径を計測する工程と、  
前記第 1 血管径及び前記第 2 血管径の差である血管径差と、血圧と前記計測対象血管の血管径との相関特性と、前記第 1 位置及び前記第 2 位置の高さ方向の差に基づく水頭圧差とを用いて、被検者の血圧を推定する工程と、  
を含む血圧計測方法。